
俺とドラキュラ

GEN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺とドラキュラ

【Nコード】

N9328A

【作者名】

GEN

【あらすじ】

伊達龍とドラキュラの生活を書いたものです。学校や家など色々な場所での出来事を書いています。他にも色々と展開があります。

第1 出会い

俺は高校一年生の伊達龍今日もいつもどおり学校が終わり。

家に帰るちなみに家は30階建ての超高級マンションの最上階で一人暮らしをしている。

「ただいまー」

と言っても返す人はいない。

「おかえりー龍」

「あれおかしくねえか。」

.....

「おいお前は誰だ」

「俺？俺はヴァンパイアのドラキュラ・アレクサンダー・シルビア
11世だYO！」

「エー――――――――――」

「――――――――――」

「確かにドラキュラみたいな格好してるけどなぜうちに？」

「快適な生活ができるじゃん！俺伝説のドラキュラの息子だから
急がしいわけYO！」

「だから俺をルームメイトにしてYO！お・ね・が・い（はあと）」

「やだ」

「二文字で断るなYO！お前を仲間に入れてやるからYO！」

「ルームメイトにしてやるっからYO！と仲間にするのはやめてくれー」

「ついで俺とドラキュラの生活が始まった。

第1 出会い（後書き）

読んでくれた方ありがとうございます。初めてなので
アドバイスや感想などをどんどん書いてください。
よろしくお願いします。

第2 ドラキュラとショッピング

この前ドラキュラが来てから家がドタバタしているそういえば

ドラキュラの格好を覚えておこうまず髪は銀髪・次に服は

タキシード（黒）に黒いマントをしていた。ついでに手の爪は

鋭く八重歯がとがっていた。

そんなこんなで

「このままじゃこの場所に馴染めないからショッピングしにいこ

」
「とドラキュラ・・・」

「あたりまえだ・・・このままじゃ俺がこいつといたくない」

そういってでショッピングモールに来た。

「うわっでかいぜYOー!」

「無理やりYOー!いれるな」

「うういやりとりってほんとに疲れる」

「じゃ好きなの選んできな!」

「イエーイ!じゃっあとで!」

しばらくするとドラキュラが戻ってきた

「選んできたぜ!」

「おいっなんで食材が入ってるんだよ」

「親分があとで買う手間が省けるようにと思ひまして」

「親分いうな!おまえが食べたいものだろ!」

「マーーーーーネエ」

「でもまっ他ののはフツーのだからいいか！」

ドラキュラが選んできたのはレザー系のやつとスポーツ選手が
しているようなサングラスだった

「そうかお前太陽にがてか！」

「別に！害ないけど！なんとなく！」

「ならいいじゃん」

そして会計

「53万円になります」

「なに！！いつのまにかロレックスが」

「いいじゃん！龍！かねもてい！何だからあ！」

けつきよくブラックカードでお支払い。

・店員びっくり＝店員オドオドしながら接客

「お前今日夕飯抜きな！」

「ごめんなさい（泣き）」

ドラキュラは夕飯抜きで俺はすきやきでした。

第2 ドラキュラとショッペンダ(後書き)

読んでいただきありがとうございます。
感想などよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9328a/>

俺とドラキュラ

2011年10月3日12時22分発行